

集約化・提案型森林施業 かわら版

第1回 全国提案型施業事例発表会が開催されました!!

今年度の「森林施業プランナー育成研修」が全て終了したことを踏まえ、研修の成果の発表と、「提案型集約化施業」の更なる推進を目指すための「全国提案型施業事例発表会」が2月19日に東京の虎ノ門パストラルホテルにて開催されました。

全国提案型施業促進部会(以下「全国部会」という。)主催の初めてとなる事例発表会が東京の虎ノ門パストラルホテルで開催されました。当初250名の定員として会場を準備していましたが、定員をオーバーする申込みがあり、会場のレイアウトを急きょ変更するなどし、当日は、およそ400名の方々が参加しました。

発表会は全国森林組合連合会の岩川代表理事副会長(全国部会の事務局を代表)と林野庁の井出長官の挨拶から始まり、全国部会事務局からこれまでの取組の紹介後、第1部の基調講演を行いました。まず、今回の研修講師の相川氏と坪野氏から集約化の意義や研修のふりかえりを軸とした基調講演、モデル組合の群馬県 多野東部森林組合の浦部氏からこれまでの取組についてわかりやすく説明していただきました。

第2部では今回研修に参加した各ブロックの代表11の森林組合を取組の特徴から3つのグループに分け、基調講演をした相川氏・坪野氏がコーディネーターとなりグループ毎に壇上に上がりそれぞれの取組事例をプレゼンテーションしてもらい、提案型集約化施業の普及・推進に向けた様々な解決策について検証しました。



全国森林組合連合会の岩川副会長の挨拶

第3部では、発表組合に加え、大樹町森林組合(北海道)、のと森林組合(石川県)、秋田県森林組合連合会、愛媛県森林組合連合会、全国部会が作成したポスター(全部で16ブース)を基に、参加者との意見交換や情報交換を行うポスターセッションを行いました。また、全国部会メンバーの梶山氏・湯浅氏による高性能林業機械についてのミニ講座を行うなど、盛りだくさんの内容で、あっという間の5時間でした。



挨拶する井出 林野庁長官

13:00 / 開会・挨拶

13:15 / 森林施業プランナー研修の目的とこれまでの経緯の説明

◆第1部【基調講演(話題提供)】

13:30 / 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 相川氏

13:45 / (株)フォレスト・ミッション 坪野氏

14:00 / 群馬県 多野東部森林組合 浦部氏

◆第2部【パネルディスカッション形式の事例発表】

14:20~16:20 / 各ブロックの代表の11森林組合が3グループに分かれ事例発表&ディスカッション

◆第3部【ポスターセッション&話題提供】

16:30 / 16のブースに分かれポスターセッション形式で紹介

17:20 / 話題提供<高性能林業機械>

富士通総研 梶山氏

日吉町森林組合 湯浅氏

17:50 / 閉会

18:00 / 情報交換会



「日本林業再構築の最初のステップとしての提案型集約化施業」をタイトルに森林組合のミッション等を熱く語る相川氏



モデル組合を代表してこれまでの経過や取組の成果、課題についてわかりやすく説明する群馬県 多野東部森林組合 会計主任の浦部氏



「森林施業プランナー研修をふりかえって」をタイトルにプランナーに求められること、2年目に向けての展望等を明解に語る坪野氏



真剣に話を聞く参加者の皆さん

さあ、いよいよ第2部の各ブロック代表による発表！！

グループ①「実行に向けた組織体制の整備」

課題：成果を出して行くには、組織的な取組や工夫が必要



コーディネータの相川氏(左側)と坪野氏(右側)



グループ毎にステージに上がって、パネルディスカッション形式で発表を実施



岡山県 美作森林組合

日吉町森林組合にならったホワイトボードを活用した情報の共有



秋田県 仙北東森林組合

データがあれば誰でも作れる、わかりやすい提案書を目指す



熊本県 天草地域森林組合

若手職員を軸に将来を見据えた組織横断のプロジェクトチームの結成



岩手県 浄安森林組合

参事自ら先頭に立ち、若手職員と一緒に林業実行組合を活用した取組



京都府 京都市森林組合

若手職員が発案し取り組むボトムアップ型。人材の発掘、育成、設備投資なども計画的に実施

グループ②「単価設定へのアプローチ」

課題：単価設定のために、工程別のコストの把握が必要だが、その方法がわからない



北海道 当麻町森林組合

機械損料の計算、径級・材積別の生産性を把握し、単価設定を実施



岐阜県 揖斐郡森林組合

年間の目標生産量から逆算して立方当たりの現場経費を算出



山梨県 南部町森林組合

コスト構造、経営状況を把握し、直接施業費、諸経費、手数料の明確化

グループ③「施業提案への積極的な取組」

課題：集約化の意義は分かったが、施業提案の実施になかなか踏み切れない・・・



鹿児島県 薩摩東部森林組合

所有規模が零細で施業集約化の必要性から、地域のキーマンを所有者とのつなぎ役とした施業提案の実施



愛媛県 大洲市森林組合

日吉町森組の提案書を見て必要性を痛感。施業提案を行い確実に実績を積み上げ



富山県 砺波森林組合

関係者が集まり、GPSも用いて、境界確定。プランナーの顔写真を入れた施業提案の実施

第3部のポスターセッション&話題提供も大盛況！！



秋田県森連の労作のポスター



皆さん熱心に聞き入っていました。

どのブースのポスターもカラフルで工夫された分かりやすいものとなっていました。



(梶山氏)

高性能林業機械の話題提供！！

150名近い参加者が聞き入っていました。



(湯浅氏)



次回のニュースレターの発行は4月上旬を予定しています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyukai/syuyakuka/newsletter.html>

企画・発行：林野庁林政部経営課 提案型施業推進事務局 TEL:03-3501-3810/Fax:03-3502-1649